

歴史・文化・読書

秋

暑い陽射が落ち着きはじめ、秋の足音が聞こえる季節になってきました。芸術の秋、読書の秋、文化の秋、今年の「秋」のご予定はおきまりですか？図書館・歴史資料館から、企画展やイベント、募集のご案内です。

企画展

「歴史資料館収蔵資料名品撰」展

武雄市図書館・歴史資料館では、現在31,000点を超える多くの貴重な資料を収蔵しています。

今回の企画展では、当館に収蔵している資料の中から、絵画・書を中心に数十点を選び、前期・後期に分けて展示し、皆さまに公開します。前期は9月15日(月)までです。観覧料は、無料です。是非この機会にご覧ください。

▶ 広福寺持国天

作者の西内清顕は高知市出身で東京美術学校（現在の東京芸大）の洋学科を卒業。武雄高校で教師をする傍ら「緑芳会」という絵画同好会を発足、この会では武雄出身の画家北川重春も指導を受けたとされる。この作品は広福護国禪寺に安置される木造四天王像のうち東方持国天を描いたもの。



ミニ企画展 「描かれた西洋」

開催期間: 11月19日(水) まで
観覧料: 無 料
場 所: 武雄市図書館・歴史資料館



▲ フランスにおける戦い (リトグラフ フランス 1814年 武雄市)

1814年3月20日、シャンパーニュ地方の町で、ナポレオンは部隊を再編成して連合軍に対する最後の戦いを挑んだ。翌3月21日、すぐ脇に砲弾が落ち炸裂したにもかかわらずナポレオンは無傷で助かり、2万8千人の将兵とともに敗走した。図は、砲弾炸裂直後の場面。また、これ以外にもロシアとトルコ・イギリス等の同盟軍との間で戦われたクリミア戦争を題材としたリトグラフ等7枚がある。

1798年から1815年にわたるナポレオン戦争は、兵力動員、戦力などの軍事技術に大きな変革をもたらしました。19世紀、近代的西洋軍事学が実践された始まりであり、佐賀藩に大きな衝撃を与えたフェートン号事件の契機でもあります。ナポレオンの伝記は偉人研究だけでなく、兵術研究にも活かされました。武雄に残る唯一の伝記もナポレオンのものです。今回展示する石版画は武雄の旧家が所蔵していたもので、ナポレオンの戦いやクリミア戦争を画題としています。限られた情報の中から、西洋の動きを読み取ろうと務めていた当時の人々の資料の一端をご覧ください。

「ふるさとの歴史散歩」参加者募集

エポカル武雄まつりの一環として「ふるさとの歴史散歩」を開催します。今年は、武雄市山内町の散策を計画しています。

山内町は自然景観に富み、筒江窯、住吉城跡など、県指定や市指定の史跡・文化財が数多く残っています。また、当時は塾、寺子屋の数が領内随一であり、幕末から明治にかけて幾多の人材を輩出しました。

今回のふるさと歴史散歩では、偉人たちの足跡をたどりながら、山内町の自然や史跡を散策し、郷土の歴史について理解を深めたいと考えています。興味のある方はぜひご参加ください。



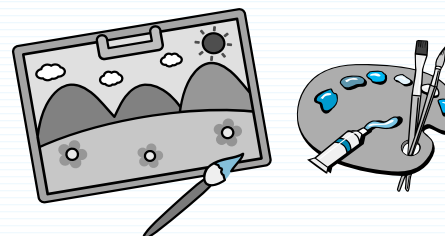
第8回 エポカル武雄まつり

●開催日 10月5日(日)

武雄市図書館・歴史資料館では、今年度も恒例のエポカル武雄まつりを開催します。ボランティアグループによるスペシャルおはなし会や古本市、図書館で不要になった雑誌の無料配布などを計画しています。プログラムなど詳細は決定した後、図書館内掲示板、当館ホームページでお知らせします。

読書感想文・感想画 作品募集

武雄市図書館・歴史資料館では、第62回読書週間(10月27日～11月9日)行事の一環として読書感想文・感想画コンクールを実施します。ぜひ皆さんご応募ください。



問 武雄市図書館・歴史資料館
☎(20)0222 担当:大宅

毎週月曜日及び第3木曜日は休館です。
ただし、休館日が祝日の場合は翌日が休館日になります。

10月27日～11月9日は読書週間

◆応募区分

- ・小学低学年(1・2年生)
- ・小学中学年(3・4年生)
- ・小学高学年(5・6年生)
- ・中学生 ・高校生 ・一般

◆必要事項

《感想文》原稿用紙はB4を使用し、縦書きで自筆してください。字数は次のとおり。

- ・小学低学年 800字以内
- ・小学中・高学年 1200字以内
- ・それ以外 2000字以内

《感想画》用紙の材質は自由。大きさは4つ切(約54cm×38cm) 絵の具はクレヨン、パステル、水彩、油絵の具など自由。版画、貼り絵なども可。

◆応募締切 10月24日(金) 必着

※作品は未発表のものに限ります。